

REKUSON

REKUSON 鉄筋積算集計システム

目次

REKUSON V5 Mastering Stage

はじめに必ずお読みください

システムの仕様 及び システム内の用語について
(加工帳の集計 及び 区分け 登録に関する事項など)
メインメニュー説明

1 加工帳 作成

- 1 新規現場 登録
- 2 加工帳 作成 (加工帳を作成する)

加工帳 作成 (便利な機能や様々な編集)

自動切寸 / 伸び計算 / 訂正の仕方

1. すで書きこまれた行を消去したい時
2. 空白の改行(空白の行)を作りたい時
3. 行の間に新に書き足したい時

1. 編集画面での訂正の仕方
2. 登録された加工帳を積算毎にコピーしたい時
3. 加工帳を部分的に集計したい時
4. 加工帳を全て径別に集計したい時
5. 加工帳を部分的に印刷したい時
6. 編集画面での「範囲消去」「改行」の仕方

メインメニュー 機能ボタン

- 1 登録された 現場情報の削除
- 2 登録された 加工帳の削除
- 3 作業ファイル クリアー
- 4 登録された 加工帳コピー
- 5 登録された 加工帳 現場情報変更
- 6 作業フォルダーの 保存 / 交換 詳細

- 2 梁 自動積算
- 3 柱 自動積算
- 4 ベース 自動積算
- 5 壁 自動積算
- 6 データ保存 / 交換
- 7 印刷 項目

システムの仕様 及び システム内の用語について

積算システムは全ての作業をメインメニューから進めていきます。
メインメニューは「 2 」つのリストボックスと「 12 」のサブメニューから構成されています。

登録数は1つの積算(加工帳1枚=27行×33枚)を1件として、
最大5000件の登録が可能です。通常 100件分の積算量を1つの「ファイル」
(加工帳を整理する戸棚の考えです)として「フォルダー名」を付けて
コンピュータ内のハードディスクに保存します。
そして必要に応じて100件分の加工帳を画面上に呼び出して積算を進めていきます。
画面上に呼び出された100件分の「加工帳」を「作業フォルダー」と呼びます。

通常 1つの現場を積算する中で、(基礎、地中梁、1Fフロアー、2Fフロアー etc…….)
などの形式で積算を進めていきますが、「作業フォルダー」内で
一現場毎に区分けをして数量の合計やフロアー毎の仕分けなど、様々な積算形態を
効率的におこなう為に 新規積算毎に現場名を使って 名前を付けていきます
それら区分けした現場名を「管理 現場」と呼びます

[管理 現場] の下に同じ現場の積算が 仕分けされていき(2F 柱、2F 壁、2F スラブ)など
1件 1件の 積算を「単独 積算」と呼びます。

[管理 現場] は、「作業ファイル」上で同時に100件まで登録する事ができ「単独 積算」
1件につき 1つの「管理 現場」を登録する事も可能です
新規の現場で積算を始める時は、「現場名」の登録をする必要がありますが、1度登録すると
次回からは「現場名」を選択する事で、積算の入力が直ぐにおこなえます。

上記に述べた様に 積算の仕様は
「フォルダー」(加工帳を整理する戸棚) → 「登録 現場」(現場毎に加工帳を仕分けするバインダー)
「単独 積算」(2F 柱、2F 壁、2F スラブ etc...) で構成されます。

最初に起動されると メインメニューが開きます

メニューは 3 種類のリストボックスから構成されています
リスト名をダブルクリックする事で必要な処理を実行できます



画面上段 リストボックス

上段のリストボックスは 登録された現場情報を表示しています
現場名をダブルクリックする事で新規の加工帳を作成できます
その他に「ベース積算」「梁積算」「柱積算」「壁積算」
「スラブ積算」「登録現場情報 変更」「重量明細印刷」
「階別重量印刷」「階別明細表」「現場別保存」「登録現場情報 削除」
を処理する事ができます

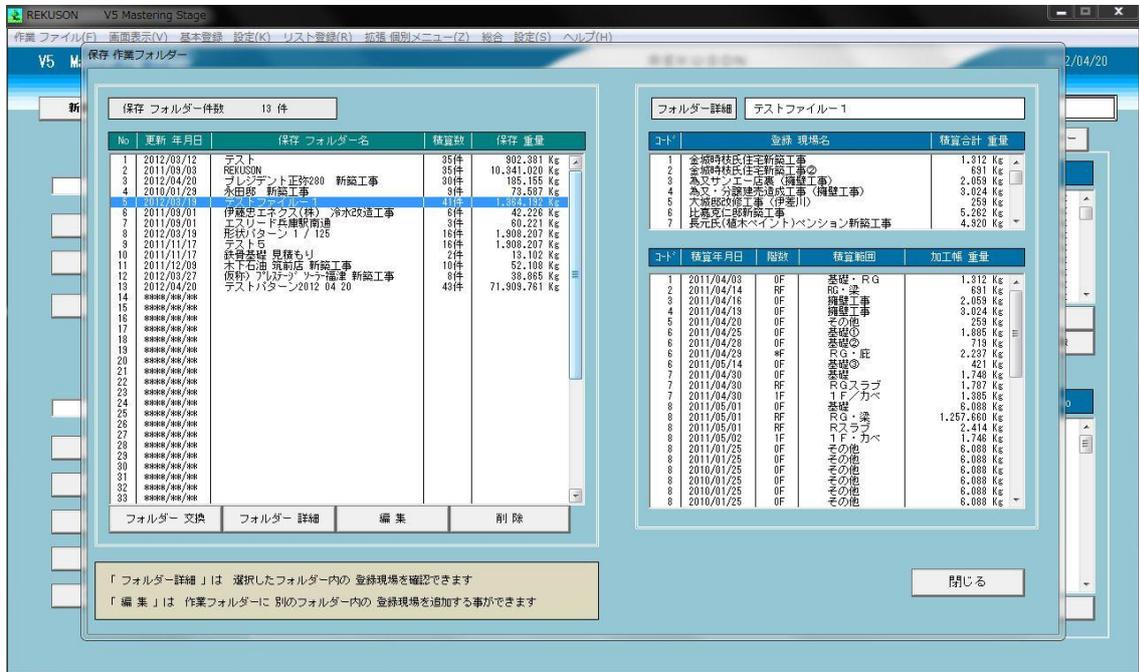
スラブ積算は 2013 年度内に 標準で追加されます

画面下段 リストボックス

下段のリストボックスは作成した加工帳が表示されています
加工帳名をダブルクリックする事で登録された加工帳を開きます
その他に「加工帳コピー」「荷札印刷 / 材別集計」「加工帳重量印刷」
「加工帳印刷」「加工帳削除」を処理する事ができます

保存 作業フォルダー

「保存 作業フォルダー」のボタンをクリックすると
ハードディスクに保存された「作業フォルダー」を表示します
フォルダー名をダブルクリックする事で 作業フォルダーを交換します



積算システムでは1つの積算(加工帳1枚=27行×33枚)を
1件として 最大5000件の登録が可能です
通常 100件分の積算量を1つの「単位」として
「フォルダー名」を付けてHDD内の専用フォルダーに保存します
そして必要に応じて100件分の加工帳を画面上に呼び出して
積算を進めていきます 画面上に呼び出された
100件分の「単位」を「作業フォルダー」と呼びます

作業フォルダーの仕分けについて

工務店別に 現場を分けた「作業フォルダー」を作る
下請け別の「作業フォルダー」を作る
見積もり用の「作業フォルダー」を作るなど
「作業フォルダー」を分ける事で便利な使い方が出来ます

リストボックス 機能ボタンの使い方

3種類のリストボックスにはそれぞれ 機能ボタンが配置され
各リストボックス内の 機能ボタンで処理を実行できます

リスト名をワンクリックで選択すると リスト名は青く反転され
機能ボタンをクリックする事で処理を実行します

新規 現場登録

「新規 現場を登録する」

通常 こらから加工帳を書き出そうとする時、現場名をマウスで選んで直ぐに加工帳を書き始める事ができますが、「初めて加工帳を書き始める」時や「違う現場を書き始める」時など、一度だけ「現場名の登録や元請名の登録」をすることになります。そして次からは登録された現場名をマウスで選択して加工帳を作成する事になります。

A. 1. 現場名 2. 元請名 3. 担当者名 4. 屯単価 この4項目を登録します。

1. 新規登録の書き込み手順

「新規登録」の仕方

*メインメニューより「新規現場 登録」ボタンで

* 登録フォームを開きます

新規現場登録

現場名称

元請名称

契約数量 入荷数量

担当者名

屯単価 *単価は半角英数

登録区分

一般 新規登録

見積り 新規登録

登録開始 キャンセル

規格設定	元請名称 転送	担当者名 転送
D10 SD 295A	1 株式会社 竹中工務店	1 ○□△
D13 SD 295A	2 株式会社 ○□△建設	2 伊勢鉄筋
D16 SD 295A	3 上村建設 株式会社	3
D19 SD 345	4	4
D22 SD 345	5	5
D25 SD 345	6	6
D29 SD 345	7	7
D32 SD 345	8	8
D35 SD 345	9	9
D38 SD 345	10	10
D41 SD 345	11	11
D51 SD 345	12	12

元請名称 削除 担当者名 削除

新規現場登録手順

現場名称 - 元請名称 - 担当者名 - 屯単価 は 各入力枠を マウスでクリックして書き込んでください

現場名称 - 元請名称 - 担当者名 を 「空白」で 登録した場合 「*****」で登録されます

屯単価 を 「空白」で 登録した場合 0円 で登録されます

規格の設定は 各現場に合わせて 変更する径をマウスで指定後 「規格設定」で 規格の数字を入力してください

新規の 元請名称 - 担当者名が 入力されると 登録案内で 次回より 新規現場登録フォームに表示されます

*登録フォームより

*1. 現場名 2. 元請名 3. 担当者名 4. 屯単価

*上記の 4項目を登録します。

*契約数量 入荷数量は 登録の必要はありません

「新規登録」の書き込み手順

最初に 現場名の書き込みを行います
ワープロで「全角 18文字以内」で入力します
何も入力しないで空白の時は「*****」で登録されます

次に「元請名」を入力します
あらかじめ 元請名が登録されている場合は
元請名をクリックで選択 「転送」ボタンで
簡単に入力する事ができます

「初めて加工帳を書き始める」時など、登録がない場合
ワープロで「全角 18文字以内」で入力します
何も入力しないで空白の時は「*****」で登録されます

「担当者名」の登録をします

*あらかじめ 担当者名が登録されている場合は
*担当者名をクリックで選択 「転送」ボタンで
*簡単に入力する事ができます

*「初めて加工帳を書き始める」時など、登録がない場合
*ワープロで「全角 10文字以内」で入力します
*何も入力しないで空白の時は「*****」で登録されます

最後に「屯 単価」の登録をします

*「屯単価」の金額を登録しておけば、現場毎の出来高や
*フロアー毎 月締めなどの出来高など シミュレーション的に
*出来高の目安を見ることができます
*屯単価の入力範囲は0円から99999円です
*何も入力しないで空白の時は 0円に設定されます。

Z. 「規格設定」

*規格の設定は必要に応じて設定します
*規格はあらかじめ初期設定で「D10～D16・SD295A」
*「D19～D51・SD345」に設定されています。

*設定の必要が無い時は上記の規格で登録されます

Z. 規格を設定するには

*変更する規格をクリックで選択 「規格 設定」を押します
*規格 設定フォームを表示させます
*変更する規格を数字入力して「OK」を 押して、変更します。
*SDは入力の必要は、ありません。

A. 「一般 新規登録」とは 実際に可動している現場を指します

B. 「見積もり新規登録」とは 見積もりのための加工帳を指します

*これは 一般と見積もりの「区分」を分けるため登録後も 変更をすることができます

「登録を開始」する

入力が終わって「登録 開始」をクリックすると
確認案内があり「OK」で登録を開始します
「キャンセル」で前の画面に戻ります 登録中に 新しい 元請名 / 担当者名を入力
を入力していると
「登録しますか」という 案内がありますので
「はい・いいえ」で選択します

*新しい元請名 / 担当者名が無い時は
*「元請名 担当者名」登録の案内はありません

*登録が終わると「加工帳 作成」画面を開きます

登録後の訂正の仕方

*登録後の訂正はメインメニューの「現場情報 変更」から
*簡単に 訂正 / 変更 を する事が出来ます

加工帳 作成手順

加工帳 作成 (加工帳の作成手順)

加工帳 作成手順

- *新規の加工帳の場合 「階数」と「積算範囲」を選択して
- *加工帳の書き込みを始めます

階数の選択

- *階数の選択は 階数ボックスの ▼ をクリックして 選択していきます



- 地下は 「 B1階・B2階・B3階 」 基礎は「 0階 」
- 一般階は 「 1階 から 50階 」
- 最上階は 「 R階 」 ペントハウスは「 PH1階・PH2階・PH3階 」
- 積算する 階 を 階数ボックスの ▼ を クリックして 選択していきます

何も選択しないで [- * 階] で 「 階数 / 積算範囲 」 決定ボタンを押すと
階数は 「 F階 」 積算範囲は 「 その他 」 で登録されます

積算範囲の入力

*積算範囲の選択は 積算範囲ボックスの ▼ をクリックして 選択していきます



積算範囲ボックス内には すでに予約登録された 積算範囲名を
積算範囲ボックスの ▼ を クリックして選択していきます
何も選択しない場合は 「 その他 」になります

登録された積算範囲名 以外を 直接書き込むには
「ワープロ入力」をクリックします
入力ボックスが開かれ 自動でワープロに切り替わります
入力は「全角で5文字 半角で10字以内」で入力します。
指定文字数以上は 入力できません
何も入力しないで「Enter」又は「OK」を押すと「その他」になります

「階数 / 積算範囲」 決定 ボタンで 加工帳の作成に移ります

* 階数 積算範囲 を選択する事で 自動で 階別集計をする事ができます

2-1 加工帳 作成 (加工帳の作成をする)

加工帳 入力手順

入力は画面中央左の 白いBOXで行います。
カーソルの点滅はありませんので ご注意ください

鉄筋の径を入力する

最初に案内BOXに「鉄筋の径」が表示されます
「10～51」までを 入力後「Enter」で決定します

名称を入力する

名称の入力は必要に応じて書き込みます。
案内BOXに「鉄筋の径」が表示されている時
「F2 名称」をクリックします。
入力BOXが開かれ カーソルが点滅します。

ワープロは「ローマ字入力 *ひらがな」で立ち上がります

ワープロ変更は ユーザー側で変更してください
入力制限は「全角8文字 半角16文字」です
入力が終われば「径」の入力に戻ります
名称の入力は、「鉄筋の径」が表示されている時以外
入力を受け付けません

形状番号を入力する

図形BOXに記載されている 形状番号を入力します。
「 Enter 」だけの入力は 前回の形状で入力されます
図形の切り替えは、左下の「 F1 形 状 」をクリックすると

「20図形」を表示切替していきます
積算図形が無い場合 「56・その他」を選択してください。
「 形状番号 」表示中は「 F1 形 状 」以外 使えません

形状の「働き」を入力する

選択された形状が加工帳に書き込まれた後
案内BOXには、「1番の働き」と表示されます。

「働き」番号は、選択した形状の赤字の数字を入力します
番号は 形状によって最大「5番の働き」まで
順に入力案内をしていきます。

番号順に「働き」の入力がされる度に、加工帳の形状に

「働き」が書き込まれていきます。
「働き」を加工帳に記載する必要が無ければ
「 Enter 」で 次の「働き」に移ります。

「材 長」を入力する

案内BOXには、「材 長」と表示されます。
数字を入力「Enter」で決定します
「材 長」の制限は「200mm 以上」「12000mm 以下」です

「本 数」を入力する

案内BOXには、「本 数」と表示されます。
数字を入力「Enter」で決定します

「本 数」の制限は、「1以上」「9999以下」です

「箇 所」を入力する

案内BOXには、「箇 所」と表示されます。
数字を入力「Enter」で決定します
「箇 所」数の制限は、「1以上」「99以下」です。
「箇 所」数が、1 の場合「Enter」だけで入力出来ます

「加工帳」を保存してから終了するには

加工帳を保存するには「積算登録」のクリックで行えます

「積算 登録」をクリックすると 確認案内が表示されます
「はい」で登録を開始します 登録が終了すると
「同じ管理現場で新しい加工帳を作成しますか」と
案内がありますので、つづけて
新しい加工帳を作成する場合は「はい」を選択します
「いいえ」の選択でメインメニューにもどります

加工帳 作成 (訂正その他の機能)

訂正の仕方

訂正は 何処の個所でも簡単に訂正をすることができます

訂正場所にマウスをあてると訂正場所が赤く囲まれます
赤く囲まれたのを確認してマウスをクリックすると
加工帳の訂正場所を消去します
案内BOXは、他の入力途中でも 訂正する 案内BOXに
表示を切り替え再入力をおこなう事ができます

定尺や定尺本数 及び 重量は 訂正場所にともない
再計算を自動で訂正計算します

訂正中も「自動切寸」「伸び計算」が「ON」の場合
自動計算をおこないません

空白の改行を作りたい時

案内BOXに[鉄筋の径]と表示中「改行」をクリックします

書き込まれた行と行の間に改行を入れたい時
案内BOXに[鉄筋の径]と表示中「項目新入」をクリック
画面中央に「入力プロパティ」が表示されます。

「挿入NOを入力してください」と案内表示がありますので
空白の改行を作りたい行のNO(番号)を入力します。
入力後「改行」をクリックします

NO(番号)とは、加工帳左側の行番号を指します。

書きこまれた行の位置に 新たに入力したい時

「項目新入」をクリックすると画面中央に
「入力プロパティ」が表示されます
「挿入NOを入力してください」と案内表示がありますので
新入する行の NO(番号)を入力します

NO(番号)とは、加工帳左側の行番号を指します。

NO(番号)の入力が終わると 通常の入力に移ります
入力が終われば 指定した行番号に書き込まれます

すでに書き込まれていた行は 自動的に繰り下がります

書きこまれた行を消去したい時

「範囲消去」を選択して「入力プロパティ」を表示させます
「消去する開始NOを入力」と案内表示がありますので
開始NOを 入力します
開始NOとは 加工帳左側の行番号を指します

次に「消去する終了NOを入力」と案内表示があります
終了NOとは 消去する行を連続して行う場合

消去する最初の行を「開始NO」
消去する終わりの行を「終了NO」として入力します
一行だけの消去の時は 同じNO(番号)を入力します

圧接数の書き込み

圧接枠の所定の位置に クリックでカーソルを点滅させます
本数を入力して「Enter」で決定します

本数を減らす場合 本数に マイナス(-)を付けて入力します

本数は自動で計算しますので 増減した本数を
入力する必要はありません
カーソル点滅中 何も入力しないで
「Enter」を押すと 前の状態に戻ります

入力例

「D22」の位置に 本数「30」本 入力する
本数は「30」本

「D22」の位置に 本数「20」本 入力する
本数は「50」本

「D22」の位置に 本数「-10」本 入力する
本数は「40」本

加工帳 作成画面 機能ボタン

「自動切寸」機能説明

「自動切寸」が「ON」の場合「材 長」を自動で書き込みます
自動切寸の計算は、メインメニューの「自動切寸 設定」で
ユーザー側で 変更する事が常に可能です
自動切寸は全ての形状に 対応している訳では有りません
自動で書き込まれない場合 「材 長」は
通常の 入力をしてください

「自動切寸」使い方

「F3 自動切寸」を クリックすると「スイッチ」が「ON」になり

グリーンライン枠で表示されます。もう一度クリックすると
「スイッチ」が「OFF」になり 通常の表示に戻ります

「自動切寸」は「形 状」の選択中以外は
何処で「ON」「OFF」されてもかまいません

「自動切寸」が「ON」の場合、形状の働きは
全て入力する必要があります

「伸び計算」機能説明

「伸び計算」が「ON」の時「伸び」計算をします
「伸び計算」は「自動切寸」が「ON」の時に 有効になります

「自動切寸」が「OFF」で「伸び計算」が「ON」の表示でも
「伸び計算」は有効になりません
伸び計算は全ての形状に 対応している訳では有りません
伸び計算で書き込まれない場合 「材 長」は
通常の 入力をしてください

「伸び計算」使い方

.....
「伸び計算」を クリックすると「スイッチ」が「ON」になり
グリーンライン枠で表示されます。もう一度クリックすると

「スイッチ」が「OFF」になり 通常の表示に戻ります

加工帳 作成 (編集機能を使う)

加工帳作成画面より「編集」ボタンをクリックして便利な機能を使えます

The screenshot shows the REKUSON V5 Mastering Stage software interface. At the top, there are fields for '加工帳 編集' (Rebar Sheet Edit), '編集可能行数 104' (Maximum number of rows to be edited: 104), '種算名 AOKI 久留米新合川店 新築工事' (Calculation name: AOKI Kurume Shinkawa Ten New Construction), '定尺重量 5.926 Kg' (Standard length weight: 5.926 Kg), 'TH建設株式会社' (TH Construction Co., Ltd.), '階数 0F' (Floor: 0F), '積算範囲 基礎' (Calculation range: Foundation), and '実質重量 5.792 Kg' (Actual weight: 5.792 Kg).

The main part of the interface is a table with the following columns: N.º, 名称 (Name), 径 (Diameter), 形状 (Shape), 動き1 (Movement 1), 動き2 (Movement 2), 動き3 (Movement 3), 動き4 (Movement 4), 動き5 (Movement 5), 材長 (Material length), 本数 (Quantity), 個所 (Location), 合計 (Total), 定尺 (Standard length), and 定尺本数 (Standard length quantity). The table lists various rebar types such as '上筋 中継ぎ 2' (Top rebar, lap 2) and '下筋 追い出し' (Bottom rebar, stagger).

On the right side of the interface, there is a grid of 20 rebar diagrams, numbered 1 to 20, showing different rebar configurations and their corresponding movement patterns.

At the bottom of the interface, there are several buttons and fields: '加工帳 範囲印刷' (Rebar sheet range print), 'ページ数 4' (Page count: 4), '加工帳に戻る' (Return to rebar sheet), '範囲削除' (Delete range), '範囲集計' (Range summary), '編集取り消し' (Cancel edit), '行データ 移動' (Move row data), '荷札 範囲印刷' (Tag range print), '荷札枚数 92' (Tag count: 92), '形状' (Shape), '改行' (Line break), '径別集計' (Summary by diameter), '加工帳 コピー' (Rebar sheet copy), and 'コピー 貼り付け' (Copy paste).

加工帳のコピー 機能説明

積算をする中でスラブや壁など、同じ配筋のフロアで階が異なる現場がよくあります
 そんな時は 登録した加工帳を呼び出して別の階の加工帳で登録する事が出来ます

加工帳のコピー 使用法

コピー元になる 加工帳を メニューの「加工帳 呼び出し」より選択して 加工帳 作成画面の「編集」を開きます
 編集画面から「ファイル コピー」をクリックします

コピー元の加工帳は登録された加工帳です
 「コピーをしますか」の確認があり「はい」を選択すると「階」と「積算範囲」の入力を求められ 入力が終わるとコピーを開始します コピーが完了すると完了の案内があり 新規登録された加工帳に変更されます

あとは「編集」画面内での作業や加工帳での追加や積算など自由に作成をする事が出来ます
 編集等をした場合は「積算登録」をしてください

「コピー」「貼り付け」の仕方

加工帳 作成画面の「編集」を開きます
「編集」画面より コピーする個所を右クリックで選択します
「編集」画面の「貼り付け」をクリックして
「貼り付け」する 行番号を入力 して完了です
同じ個所を もう一度 右クリックする事で 解除できます
右クリックの コピー順に「貼り付け」します

選択した行を 移動させる

加工帳 作成画面の「編集」を開きます
「編集」画面より 移動する個所を右クリックで選択します
「編集」画面の「行データ移動」をクリックして
移動する場所の 行番号を入力 して完了です
同じ個所を もう一度右クリックする事で 解除できます
右クリックの 選択順に「貼り付け」します

加工帳を全て径別に集計したい時

加工帳 作成画面の「編集」を開きます
「編集」画面より「径別集計」をクリックします
確認案内の「はい」で径別集計を開始します
集計後「編集取り消し」で元に戻ります
加工帳 作成画面に戻ると「編集取り消し」は出来ません

加工帳を部分的に集計したい時

加工帳 作成画面の「編集」を開きます
「編集」画面より「範囲集計」をクリックします

「入力プロパティ」の案内表示に従って集計の開始 NO(番号)と
集計の終了 NO(番号)を入力します 集計が完了します

集計結果の「名称」の覧には 開始 NO(番号)の
「名称」が 全て書き込まれ、加工帳を見やすくするため
最後の行は 空白の「改行」が設けられます
集計後「編集取り消し」で元に戻ります
加工帳 作成画面に戻ると「編集取り消し」は出来ません

[メインメニュー](#) [登録された現場情報](#) / [加工帳](#) [削除の仕方](#)

登録された 現場情報 / 加工帳を削除する

登録された 現場情報 削除の仕方

登録された現場情報の削除は メインメニューより削除する事ができます
メインメニューの「リスト1より」削除する現場名をクリックして選択後
「リスト1」の「登録現場情報 削除」で削除できます

「登録現場情報 削除」では 加工帳の削除は同時には 削除されません

登録された 加工帳 削除の仕方

登録された加工帳の削除は メインメニューより削除する事ができます
メインメニューの「リスト2より」削除する現場名をクリックして選択後
「リスト2」の「加工帳 削除」で削除できます

登録された 加工帳を 範囲を指定して削除する

登録された加工帳を 範囲を指定して削除するには メインメニューの
「加工帳 範囲削除」より 削除する事ができます

「加工帳 範囲削除」を選択後 削除する 削除開始 (No) と
削除終了 (No) を入力します 入力(No)を確認後「削除 開始」で
削除します

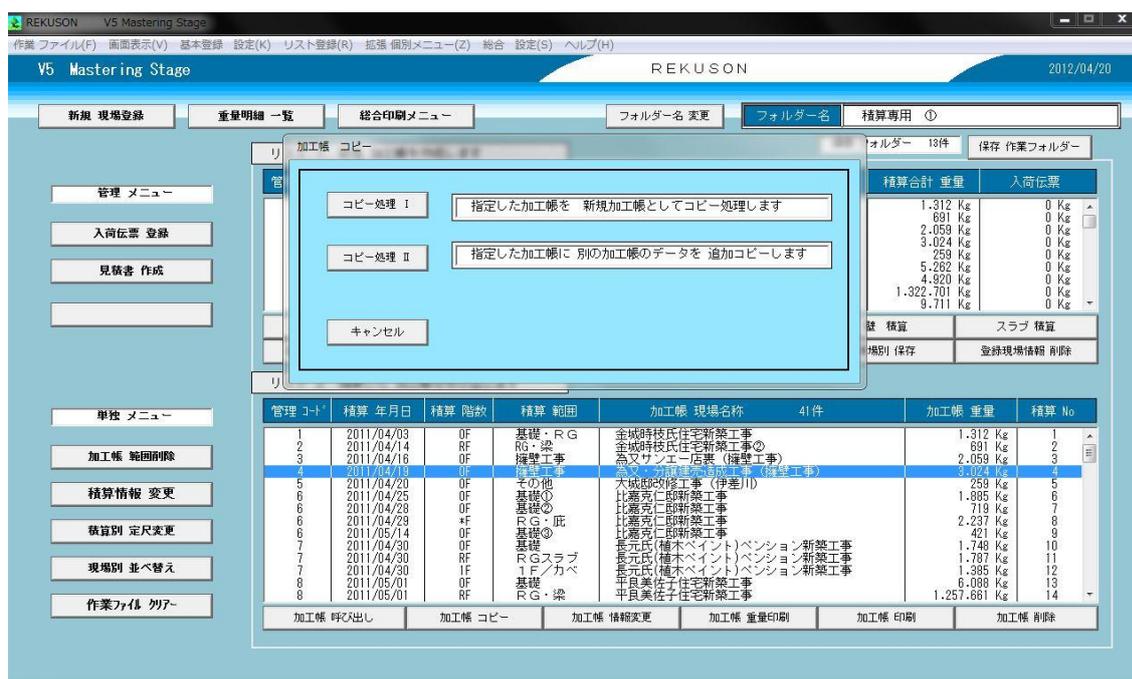
現在 使用中の 作業フォルダーは「作業ファイル クリアー」で
削除する事ができます

メインメニュー 登録加工帳コピー 加工帳 現場情報 変更

登録された加工帳のコピーの仕方

登録された 加工帳のコピーは メインメニューよりコピーする事ができます
 メインメニューの「リスト2より」コピーする加工帳をクリックして選択後
 「リスト2」の「加工帳 コピー」でコピーする事ができます

メインメニュー「リスト2より」コピーする加工帳を クリックして選択後
 「加工帳 コピー」ボタンをクリックします
 コピーの 処理項目より コピーする 処理を選択します



「コピー処理 I」は 指定した加工帳を 新規加工帳としてコピー処理します
 「コピー処理 II」は 指定した加工帳に 別の加工帳のデータを 追加コピーします

登録された 加工帳 積算情報の変更

登録された 加工帳の積算情報を変更するには メインメニューの
 「積算情報 変更」ボタンで 変更する事ができます

変更できる項目は 積算年月日 出荷年月日 積算階 積算範囲 担当者名
 管理コード 現場名 です

作業フォルダー 保存 / 交換 詳細

積算したデータを USB フラッシュメモリー や SD カードなどに 保存をしたり
REKUSON 積算システムを使用している コンピューターと
積算データ の交換をするには
ドライブ記号の設定をする必要があります

「ドライブ記号 設定 / 登録」

ドライブ記号を設定するには メインメニューの上段「総合 設定」より
「ドライブ記号 設定 / 登録」をクリックして選択します

設定 デバイス名	ドライブ記号
フロッピーディスク	[- A -]
USB フラッシュメモリー	[- H -]
メモリーカード	[- F -]
ユーザー メディア	[- L -]

キャンセル

適用

* ドライブ記号を クリックで決定後「適用」でドライブ記号を設定します
* ドライブ記号は マイコンピューター 又は コンピューターで確認してください

登録するメディアの ドライブ記号をクリックして 選択後 「適用」ボタンを
押して ドライブ記号を設定します

(ユーザーメディア)とは 標準デバイス名 以外の 任意のデバイス名です

一度登録された ドライブ記号は 変更されるまで 保存されます
登録されたドライブ記号は PCに取り付けられている USB の数などにより
変わる場合がありますので ご注意ください

ドライブ記号の確認は マイコンピューター 又は コンピューターのフォームより
確認できます

また 積算データは 100以上のデータが一度に保存されますので
積算専用として 2GB 以上の USB フラッシュメモリーなどを ご用意ください

「積算データを USB に保存する」

画面上の積算データ（作業フォルダー）を USB に保存する場合は
メニュー上段「作業 ファイル(F)」より
USBフラッシュメモリー 保存をクリックで選択します
確認案内がありますので「OK」で保存を開始します
ドライブ記号が設定されて無いメディアを選択する場合は
保存をされる前に ご使用のPCで「ドライブ記号の設定 / 登録」をしてください

「積算データ（作業フォルダー）を保存した USB から 積算データを交換する」

メニュー上段「作業 ファイル(F)」より
USBフラッシュメモリー 交換をクリックで選択します
交換されるPC側の（作業フォルダー）は自動的に（保存フォルダー）に保存されます
交換が終わると案内があり メインメニューに戻ります

「現場 単位で USB に保存する」

メニュー画面 リスト1より 保存する現場名をクリックで選択します
「現場別 保存」クリックして
USB フラッシュメモリー を 選択してください
確認案内がありますので「OK」で保存を開始します

「ハードディスクに「作業フォルダー」を保存する」

メニュー上段「作業 ファイル(F)」より
「作業フォルダー保存」又は「フォルダー名を変更して保存」
を選択します
「フォルダー名を変更して保存」を選択した時は入力ボックスが開きます
フォルダー名を書き込んで保存を開始します

「ハードディスクより「作業フォルダー」を交換する」

メニュー画面より「保存 作業フォルダー」をクリッククリックして開きます
保存フォルダー名をクリックで選択 「フォルダー交換」で 交換メニューが開きます
保存フォルダー名をダブルクリックでも 交換メニューを開く事ができます
交換メニューの「交換 開始」で 交換を開始します
「コピー 交換 開始」を選択した場合は 使用中の 作業フォルダー名の後に
コピーの文字を追加して「保存 作業フォルダー」に 保存されます

現在 使用中の作業フォルダーは 自動的に保存されます
交換が終わると案内があり メインメニューに戻ります
使用中の「作業フォルダー名」が HDDに存在しない場合
「新規 作業フォルダーとして」自動保存します